

令和7年度

門真市立門真はすはな中学校

スクールプラン

『令和の日本型学校教育』実現のための

組織的な授業改善による資質・能力の向上と

心理的安全性の確保をめざして

.....学校教育目標.....

「未来を拓く」 ～キャリア教育をととして～

～重点教育目標～

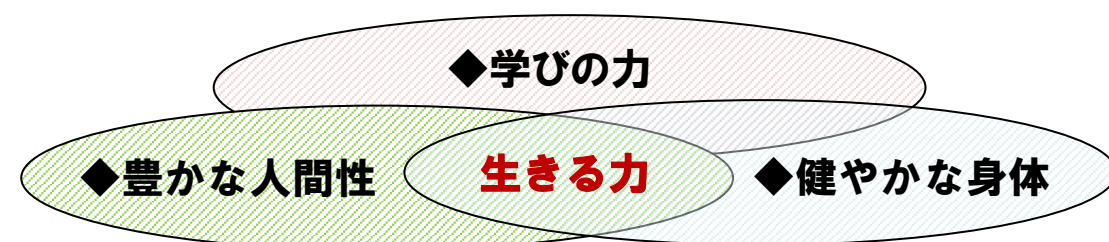
変化の激しい未来を
よりよく生きる力を育む教育

●互いに認め合い、思いやる心豊かな生徒の育成

●主体的に学び、高め合う生徒の育成

～3つのキーワード～

つくる・つながる・発見する



◆学びの力

① 自立を促すキャリア教育

- ・すべての教育活動をキャリア教育の視点でつなぎ、「学ぶ意欲」や「将来への関心」を高め、生涯学び続ける人となる教育を進めます。

② 「わかる」から「できる」授業への工夫改善

- ・学習指導要領に基づき、すべての教育活動で資質・能力（コンピテンシー）ベースの向上を意識した実践を行います。
- ・授業のながれを示す「学びのプロセス」や「四つの共通実践」を行い、主体的・対話的で深い学びができる授業に取り組みます。
- ・ユニバーサルデザインの視点のある授業づくりを進めます。

② 指導方法の工夫改善

- ・効果的な少人数指導や習熟度別指導など、工夫した指導を行います。
- ・GIGAスクール構想に則ったICT機器の効果的活用を推進し、すべての生徒の可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを一体的に充実した授業づくりをすすめます。
- ・「探究のサイクル」を意識した探究的な学びに取り組みます。

④ 授業アンケート・学力向上自己診断の実施

- ・分析した結果をもとに、一人ひとりの生徒を主語にする、より良い授業づくりに努めます。

⑤ 読書指導の充実

- ・読書指導を推進し、朝読書や新聞・学校図書館の効果的活用をすすめ、各教科を通じて言語活動の充実に努めます。

◆豊かな人間性

① 豊かな社会性の育成

- ・一人ひとりが役割を持ち、それぞれの良さを共有できる自律した生徒を育てます。
- ・生徒会活動を中心とする自治活動を活発化し、SDGsを探究するなど自らの力で活動しようとする生徒の育成をめざします。

② 発達支持的・開発的な生徒指導の推進

- ・生徒一人ひとりに対する受容と共感をととして、共感的人間関係を構築し、すべての生徒の自己実現を図るための生徒指導をすすめます。

③ 人権意識を高める実践

- ・「学校いじめ防止基本方針」に則り、学校体制のもと、いじめ防止に努めます。
- ・人権教育と道徳教育を充実することで、共にちがいを認め合い、高め合う人間関係づくり、豊かな心の育成に努めます。
- ・危機的状況に対応するために適切な援助希求行動や命の教育に取り組みます。

④ 支援教育の充実

- ・支援教育における「特別的教育課程」を理解し、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」に基づき、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を充実します。
- ・通級指導教室での指導・支援をより一層充実させます。

⑤ スクールカウンセラー等の効果的活用

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を深め、生徒の状況を把握し、関係諸機関と一体となった対応・相談体制を充実させます。

※ 心理的安全性の確保

- ・①～⑤の充実で、学びと生活の基盤を支える安心できる教室・学校を目指します。

◆健やかな身体

① 健康・体力づくりをめざす

- ・健康・体力づくりに関する活動を実践し、すこやかで安全な日常生活をおくるための指導を行います。
- ・食のバランス、朝食の摂取など、食教育を推進します。

② 家庭教育（保護者）との連携

- ・望ましい生活習慣（あいさつ・睡眠時間の確保など）の定着を図ります。
- ・「学習のしかた」を共有し、家庭学習の改善・充実を図ります。
- ・SNSのトラブルを家庭と連携し、防止します。
- ・マナー・ルール・道徳性のさらなる育成をめざします。

◆地域と共に歩む学校

① 地域との連携・協働

- ・CS（コミュニティースクール）として地域と共に歩みます。
- ・教育活動や進路に関する情報発信を積極的に行います。
- ・PTA及び地域学校協働本部との連携を深めます。

② 小中交流・一貫教育の推進

- ・中学校校区の2小学校との連携を密にしながら、小中一貫カリキュラムを検討し、小中9年間を見据えた、子どもの育成を図ります。